

## 2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

2022 年度は、新型コロナウイルスによる行動制限や規制緩和が進み、社会・経済活動の正常化が進む中、期初計画通りの事業を実施いたしました。年度末の 2023 年 3 月 17 日には、財団創立 70 年の節目を迎えることができました。

収益面においては、主力の「統計普及・啓発事業」では、定期刊行の 4 書籍を発刊し、書籍売上実績は前年を上回りました。一方で、低金利の環境が継続していることから、債券の償還に伴う入替により運用収益は減少しました。

費用面では、印刷製本の費用抑制に努めました。一過性の要因として労働環境の改善に向けたリノベーション実施や、中途採用に係る支出が発生し、全体の費用は増加しました。

この結果、公益目的事業に関しては公益法人認定法に定める『収支相償』を満たすとともに、法人運営経費を含めた財団全体の収支は評価損益等調整前で赤字でした。

### I. 事業の概要

当財団は、第一生命保険の創立者で、生命保険事業の発展に偉大な功績を残すとともに、統計の普及、公衆衛生や社会教育の向上、農業の振興など各方面に多大な貢献をした故矢野恒太（以下故人と記載）の事績を顕彰し、その思想を普及させるため、各種の記念事業を行っています。

2022 年度においても事業計画に基づき、定款に定められた各事業を次のとおり実施しました。

### II. 個別の事業内容

#### 1. 統計普及・啓発事業 <公益目的事業>

##### (1) 統計データブックの編集・刊行

当財団の中核事業として、1927 年に故人が創刊した「日本国勢図会」の他、3 種類の統計データブックを編集・発行し、統計の普及・啓発を図りました。

また、多様な購読者のニーズに応える取り組みとして、現在ではすべての統計データブックにおいて、電子書籍を同時に発行しております。

さらに、「日本国勢図会」及び「データでみる県勢」について、当財団のホームページから一部統計データをエクセル形式でダウンロードできるサービスを提供しております。

本年度発行書籍、部数並びに本年度末時点での書店販売部数は次のとおりです。

|   | 書籍名      | 発行日  | 版数 | 発行部数   | 販売部数   | 前年度版販売部数 | 対前年比   |
|---|----------|------|----|--------|--------|----------|--------|
| ① | 日本国勢図会   | 6/1  | 80 | 16,000 | 12,174 | 12,534   | 97.1%  |
| ② | 世界国勢図会   | 9/1  | 33 | 11,000 | 8,248  | 8,467    | 97.4%  |
| ③ | データでみる県勢 | 12/1 | 32 | 7,500  | 4,806  | 4,752    | 101.1% |
| ④ | 日本の100年  | 2/1  | 7  | 7,500  | 265    | 312      | 84.9%  |
| ⑤ | 日本のすがた   | 3/1  | 54 | 25,000 | 12,898 | 11,174   | 115.4% |
|   | 合計       |      |    | 67,000 | 38,391 | 37,239   | 103.0% |

## (2) 統計データブックの贈呈

### 在外教育施設への教育支援

従来、海外子女教育活動の賛助として、当財団発行の「日本国勢図会」、「日本のすがた」、「世界国勢図会」の3書籍を寄贈していましたが、2022年度からは電子書籍による提供に切り替え、全日制日本人学校と補習授業校および私立校、計210校に対し、合計1,680冊を提供しました。また、出版後、年3回の即時の電子書籍による提供に切り替え、3月に「日本のすがた2023」を計209校に対し、418冊提供しました。

## (3) 統計関連団体への出捐

### 日本国内における統計の普及・啓発を図る事業への賛助

- ① 統計の進歩や統計知識の普及に貢献した個人、団体等を顕彰する2022年度「大内賞」への賛助金として10万円を“大内賞委員会事務局”に出捐しました。

なお、大内賞は、2022年度の第70回をもって終了しました。

- ② 統計の普及と統計の表現技術の研鑽を図るため、全国の小・中・高校生等を対象に実施される「統計グラフ全国コンクール(公益財団法人統計情報研究開発センター主催)」が11月に開催(第70回)され、賞金ならびに賞品を贈呈いたしました。

## 2. 表彰・奨学金事業 <公益目的事業>

### (1) 矢野賞

故人は農家の子弟に実際に即した農業知識を授けることを目的に、1934年、郷土岡山県に三徳塾を設立しました。当財団はその遺志を継承して、岡山県において農業の振興に貢献した模範農業青年に1954年より毎年「矢野賞」を贈呈しています。2022年度も岡山県知事より推薦された下記3名を、第69回受賞者に決定しました。

贈呈式は2022年10月21日に「第一生命保険株式会社日比谷本社」において、2020年度（第67回）・2021年度（第68回）・2022年度（第69回）受賞者合同で実施し、各人に賞状、賞牌を、2022年度（第69回）受賞者には賞金100万円を贈呈し、その功績を表彰しました。

|        |         |            |
|--------|---------|------------|
| 高橋 幹 雄 | 倉敷市(備中) | 野菜経営(れんこん) |
| 徳山 彰   | 井原市(備中) | 畜産経営(乳牛)   |
| 馬場 克 典 | 真庭市(美作) | 果樹経営(ぶどう)  |

累計受賞者数は227名になりました。

### (2) 岡野敬次郎博士記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、よき理解者・協力者であった故岡野敬次郎博士の遺徳を顕彰するため、博士が教鞭を執られた東京大学・中央大学の大学院生を対象に、1954年に奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も、両大学から各3名合計6名の大学院生の推薦を受け、理事会にて選考のうえ各人年額60万円、総額360万円の奨学金を交付しました。

### (3) 池田謙三翁記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、多大なご協力をされ、その初志達成に尽力された故池田謙三翁の遺徳を顕彰するため、故翁の出身地、兵庫県豊岡市出石町所在の県立出石高等学校の生徒を対象に、1957年に池田奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も学校長より、高校2年在学の生徒5名の推薦を受け、理事会にて選考のうえ、昨年度選考の高校3年在学の生徒5名と合わせ合計10名に、総額120万円の奨学金を交付しました。

### 3. 故人に所縁のある関連農業団体への支援事業・関連施設の維持・管理事業

#### <その他事業>

#### (1) 「恒心会」及び「三徳園友の会」への支援（補助金の支給）

恒心会は、矢野賞、三徳賞、新三徳賞の受賞者を会員として組織されています。会員はそれぞれの地区における有力な農業指導者であり、地域農業の振興に大きく貢献しているとして県当局からも後援されています。

本年も会員相互の研鑽や地域活性化活動の助成金として、申請のあった35万円を支給しました。

三徳園友の会は、恒心会および三徳塾同窓恒親会の会員で、かつ故人の三徳塾開設の精神を顕彰するという目的に賛同する者を会員として組織されています。本年度は、総会・研究会の会場、会報作成並びに現地研修会に要した費用のうち、同会より申請のあった50万円を補助しました。

#### (2) 「三徳塾同窓恒親会」への支援（新三徳賞）

「三徳塾同窓恒親会」は、三徳塾および岡山県立三徳農業研修所の修了者を会員とした同窓会組織です。

当財団では、1954年度から1964年度まで「三徳賞」として、三徳塾卒業生の中から優秀な青年農業者を表彰していましたが、三徳塾が岡山県立農業大学校に吸収されたことにより、1965年度より「三徳賞」は「矢野賞」に併合されました。

しかし、塾卒業生の中で長年農業に携わり現在も優れた実績を上げている方も多数おり、三徳塾同窓恒親会を始め岡山県当局からも「新三徳賞」設定の要望を受け、1998年度に創設しました。

本年度も“新三徳賞選考委員会”より推薦された下記2名を、第25回新三徳賞受賞者に決定しました。

贈呈式は、2023年1月25日に津山市「津山鶴山ホテル」において、2020年度（第23回）・2021年度（第24回）・2022年度（第25回）受賞者合同で実施し、各人に賞状、記念品を贈呈し、その功績を表彰しました。

|      |     |              |
|------|-----|--------------|
| 芳形和彦 | 赤磐市 | 水稻・野菜・果樹経営   |
| 檜崎雄  | 備前市 | 水稻・野菜・椎茸・栗経営 |

累計受賞者数は49名になりました。

(3) 故人を記念し、保存すべき施設の維持および管理

①故人の生誕地跡にはかつて上竹原町公民館がありましたが、2000年3月に老朽化により取壊されました。建物撤去後は石碑、樹木等を残しており、近隣の先祖墓所を含め、その維持・管理を上竹原町内会と三徳塾同窓恒親会にお願いしております。その費用として上竹原町内会に10万円、三徳塾同窓恒親会に20万円、合計30万円を支出しました。

③ 故人及び池田謙三翁の墓所の維持管理を行いました。

(4) 教育講演会の実施

岡山市教育委員会からの依頼により、2023年1月に矢野恒太翁が学んだ岡山市立角山小学校において、「矢野恒太の生き方に学ぶ」と題した教育講演会を実施しました。高学年の生徒と父母と学校関係者が参加して、山陽新聞にも記事が掲載されました。

### III. 法人管理部門

#### 1. 役員等に関する事項

2022 年度末現在の役員、評議員は次のとおりです。

役員（理事 7 名、監事 1 名） （五十音順）

|      |       |      |      |  |
|------|-------|------|------|--|
| 理事長  | 齋藤勝利  |      |      |  |
| 専務理事 | 前田和男  |      |      |  |
| 理事   | 江頭憲治郎 | 岡野學  | 西澤敬二 |  |
|      | 根道博   | 舟岡史雄 |      |  |
| 監事   | 南部雅実  |      |      |  |

評議員（7 名） （五十音順）

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 稲垣精二  | 大橋正春 | 生源寺眞一 |
| 福原紀彦  | 山口隆司 | 美添泰人  |
| 渡邊光一郎 |      |       |

#### 2. 役員会等に関する事項

2022 年度に開かれた理事会および評議員会は次のとおりです。

##### (1) 理事会

① 2022 年 6 月 3 日、第 32 回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

##### <決議事項>

- ア. 2021 年度事業報告及び財務諸表等承認の件
- イ. 定時評議員会日時及び場所並びに目的である事項の件
- ウ. 岡野敬次郎博士・池田謙三翁記念奨学金、奨学生選考の件

② 2023年3月14日、第33回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

ア. 2023年度事業計画及び収支予算等承認の件

(2) 評議員会

① 2022年6月23日、第12回評議員会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

ア. 議長選出の件

イ. 議事録署名人選出の件

ウ. 2021年度事業報告及び財務諸表等承認の件

エ. 理事選任の件

(3) 登記事項

① 2022年6月23日付辞任された理事（二宮理事）の後任として、同日付にて選任された新任理事（西澤理事）の変更登記を行いました。